PART2　つ・ぬ・たり・り

つ・ぬ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	つ							型
形	ぬ							型

【意味】

① 完了（～た）

② 強意（きっと～・必ず～）（＝確述用法）

〈見分け方〉＝「　　　　」を見る

② **強意**になる時

ぬ　　つ

＋「　　　　」

※下枠参照

てむ
なむ
（**て**ん）
（**な**ん）
てまし
なまし
てけむ
にけむ
つべし
ぬべし
つらむ
ぬらむ

〈例題一〉　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　この使ひを失ひつらむ心憂さよ。

②　いふかひなくて、ともに帰りぬ。

③　こはいかなる物を食はせつるぞ。

④　よその眠も覚めつべし。

⑤　今は世の花も、盛り過ぎぬらむ。

たり・り

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	ラ変型
	り	ら	り	り	る	れ	れ	ラ変型

【意味】

①　完了（〜た）
②　存続（〜ている・〜てある）

〈見分け方〉

まず「　　　　」で訳す。→おかしければ「　　　　」

問四　傍線部ａ・ｂの助動詞の意味として最も適当なものを、次の中から一つずつ選べ。

物思ひすがたにて出でにけり。(a: にけり)
春は廿九日（にじふく）あるかと候ひしを…(b: し)

ア　推量　イ　使役　ウ　断定　エ　過去　オ　完了　カ　尊敬

ａ＝　　ｂ＝

問五　傍線部①・②の意味として、最も適当と思われるものを、次の中から一つずつ選べ。

とてもかくても過ぎなん。(①: な)
恩所あれども生を変へぬれば、…(②: ぬれ)

ア　可能　イ　自発　ウ　完了　エ　受身　オ　打消推量
カ　意志　キ　強意　ク　過去　ケ　推量　コ　現在推量

①＝　　②＝

〈Memo〉

第5講　PART2　確認問題

①　「うせさせ給ひぬるやうなる。」の傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　過去　　イ　推量　　ウ　断定　　エ　完了

②　傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

もののはづかしきことの数知らず、涙も落ちぬべければ、夜々まゐりて、…

ア　きっと涙も落ちるに違いないので、
イ　涙も流すことができないので、
ウ　涙が落ちそうになったので、
エ　あまりにも涙を止めることができなくて、

③　傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

楊貴妃（やうきひ）のためしも引きいでつべくなりゆくに、いとはしたなきこと多かれど、…

ア　完了　　イ　強意　　ウ　禁止　　エ　過去

④　「おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。」の傍線部の活用形として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

⑤　「紫立ちたる雲の細くたなびきたる、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　紫がかっている雲

イ　紫だった雲

ウ　紫であっただろう雲

エ　紫がかったような雲

第５講　ＰＡＲＴ２　解答

〔例題一〕　①　強意　②　完了　③　完了　④　強意　⑤　強意

問四　ａ　オ　ｂ　エ

問五　①　キ　②　ウ

第5講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 上が連用形で、「ぬる」と活用するのは、完了の助動詞「ぬ」の連体形。よって、エが正解。

② 完了の助動詞「つ」・「ぬ」＋「べし」＝確述用法。このとき、「つ」と「ぬ」は強意（きっと〜・必ず〜）になる。よって、アが正解。

③ 完了の助動詞「つ」・「ぬ」＋「べし」＝確述用法。このとき、「つ」と「ぬ」は強意（きっと〜・必ず〜）になる。よって、イが正解。

④ 傍線部の上は、ラ行四段動詞「おごる」の已然形。上が已然形で「る」と活用するのは、助動詞「り」。傍線部下は名詞「人」であるので、活用形は連体形である。よって、エが正解。

⑤ 「たる」の上は夕行四段活用動詞の連用形。連用形に接続する助動詞「たり」は、完了（〜た）と存続（〜ている・〜てある）の意味。「紫がかっている雲」と状態が継続している様子を表すと、文意が通る。よって、アが正解。

〔解答〕

①　エ　②　ア　③　イ　④　エ　⑤　ア